

◆ 科学研究行動規範

東京大学憲章

1. 学術 (研究の理念)

東京大学は、真理を探究し、知を創造しようとする構成員の多様性に富んだ創造的な研究活動を平和と世界最高水準の研究を通じて、自主的かつ創造的な研究活動を普及し、世界最高水準の研究を追求する。東京大学は、研究が人類の平和と福祉の発展に資するべきものであることを認識し、研究の方法および内容をたえず自覚する。東京大学は、研究活動を自ら点検し、これを社会に開示するとともに、適切な第三者からの評価を受け、説明責任を果たす。

東京大学の科学研究における行動規範

1 科学研究は、人類の幸福と社会の発展のために欠くべからざる活動である。科学研究の成果は公開されることにより研究者相互の密接な評価と批判にさらされ、それと創るべき知識が人類共有の財産として蓄積され活用される。科学研究に携わる者は、この仕組みのもとで人類社会に貢献する責務を負って務め、またそれを誇りとしている。この科学者コミュニティの一員として、研究活動について透明性と説明性を自律的に保証することに、高い倫理観をもつて努めることは当然である。

2 科学研究における不正行為は、こうした研究者の基本的な行動規範に真っ向から反するものである。のみならず、研究者の活動の場である大学に対する社会の信頼を著しく損ない、ひいては科学の発展を阻害する危険をもたらす。それは、科学研究の本質そのものを否定し、その基盤を脅かす、人類に対する重大な背信行為である。

それゆえ、科学研究を行うにあたっては、捏造、改ざん、濫用を行わないこととはもとより、広く社会や科学者コミュニティによる評価と批判を可能とするために、その科学的根拠を透明にしなければならぬ。科学研究に携わる者は実験・観測等の実行者、共同研究者、研究グループの責任者など立場のいかんを問わず、説明責任を果たすための具体的な措置をとらなければならない。

3 科学研究に携わる者の責任は、負託された研究費の適正使用の観点からも重要である。大学における科学研究を有形無形に変える無数の人々に思いをいたし、十分な説明責任を果たすことにより研究費の客観性や実証性を保証していただくことは、研究活動の当然の前提であり、それなしには研究の自由はあり得ない。その責任を果たすことによってこそ、東京大学において科学研究に携わる者としての基本的な資格を備えることができる。

科学研究行動規範についてさらに知りたいときは、
科学研究行動規範ウェブサイトをご覧ください。

For further details, please visit the university's
"Code of Conduct for Research" website.



東京大学 科学研究行動規範

検索

科学研究 行動規範

Code of Conduct for Research

科学の健全な発展を目指して To Promote Responsible Conduct of Research for the Sound Development of Science

2021年4月
April, 2021

東京大学
The University of Tokyo



こういふことは研究上の不正行為です The following are examples of research misconduct

◆ 思ったおりの結果が得られなかったため、事実とは異なる架空の映像画像を作成し、公表した。
Publishing a fabricated and/or manipulated image of experimental results when the expected results are not obtained.

◆ 推論に合わない実験データを恣意的に削除してグラフを作成し、公表した。
Publishing a graph omitting data inconsistent with your hypothesis.

◆ 論文として発表した研究に関する生データや実験・観察ノート等の研究の記録を隠さなかった。
Failing to keep records of a study, such as raw data and laboratory notebooks.

◆ 研究室の同僚がミーティングで発表していたアイデアを、自らのアイデアとして公表した。
Presenting an idea originally set out by a colleague at a meeting as your own.

◆ 論文を作成する際、原論や先行研究の説明は重要ではないと考え、他者の論文からそのまま流用した。
Plagiarizing introductions and summaries of previous studies from other papers, considering these sections as unimportant parts of the paper.

◆ インターネットで見つけた他人の文章を切り貼りして自分のレポートとして提出した。
Copying and pasting material found on the Internet without citation.

知を志す者として / As One Aspiring for Knowledge

東京大学は世界最高水準の知の拠点として社会に貢献することを重要な使命としています。構成員の自発的で創造的な活動により生み出される知は、正当な手段と方法によるものでなければなりません。高い倫理観を持った知的活動の為に、この科学研究行動規範リーフレットを活用ください。

An important mission of the University of Tokyo is to contribute to society as the world's highest level of knowledge base. The wisdom produced by the autonomous and creative activities of its members must be through legitimate means and methods. Please use this leaflet on the Code of Conduct for Research to carry out intellectual activities with high ethical standards.

研究活動における不正行為に関する相談窓口 Consultation on Misconduct in Research Activities

研究推進部研究倫理推進課
Research Ethics Promotion Group

TEL: 03-5841-4304

Email: kenkyu-kihan.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

研究活動の不正行為とは？

研究活動の不正行為：

東京大学の科学研究における行動規範では、研究活動の不正行為を次のように定義しています。本学は、これらの不正行為について、調査・裁定を行う体制を整備しています。

捏造

存在しないデータその他の研究結果等を作成すること

改ざん

研究活動によって得られたデータ、その他の研究結果等を真正でないものに加工すること

盗用

他者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該他者の了解もしくは適切を要しなく流用すること

その他、上記行為の証拠隠滅等の隠蔽行為又は立証妨害行為（追試又は再現を行うために不可欠な実験記録等の資料又は実験試料等の隠蔽、廃棄及び未整備、立証妨害の意図による虚偽の陳述を含む。）及び上記行為の指示、命令又は強要も不正行為にあたります。

もし不正行為が行われた場合、不正行為を行った者や、不正行為のあった論文の責任者等は、懲戒や、研究費の返還、競争的資金の申請制限などの対象となる場合があります。

その他の不適切な行為：

さらに、科学者コミュニティの一員として高い倫理観を求め、行動規範の趣旨からは、以下のような行為は不適切であり、決して行ってはなりません。

不適切な著者選択

例) 論文の内容にはほとんど寄与していない者を著者に入れたり、逆に重要な寄与をした者を著者に入れなかったりすること

虚偽記載

例) 実際には存在しない業績等を申請書、報告書等に記載すること

重複投稿

例) 規定に反し、複数の学術誌等に実質的に同一内容の論文等を投稿すること

責任ある研究活動に向けて……

信頼性・客観性の保証：

研究成果の信頼性は、科学の発展の基盤です。研究成果の発表にあたっては、研究方法やデータ処理の適切か、再現性は十分に確認されているか、先入観や偏見に左右されていないか、慎重に検証しましょう。そのためにも、他の研究者や学生と相互に信頼なく議論し、チェックし合える環境を作りましょう。論文等に関する誤りがあった場合、他の研究者への影響が最小限になるよう、速やかに訂正を公表してください。

研究記録・試料の保管：

研究結果は、他の研究者による厳しい評価と批判を経て「真理」として認められます。他の研究者による追試や評価を可能にするために、他者が見てもわかるように実験ノート・研究ノート等を作成して研究の記録を残し、論文等の発表後も記録やデータ、試料等を保存しておくことが必要です。

引用のマナー：

新たな発見は、先行する研究成果のうえに成り立っています。他の研究者の業績に敬意を払い、関連の先行研究を論文に確認・評価し、自らの研究と先行研究の位置づけを明確にしましょう。適切に引用することは、自らの研究のオリジナリティを明確にすることももつてなおります。

研究倫理意識向上のための取組み

研究倫理教育の実施：

本学では、全ての研究者、競争的資金等の運営・管理に関わる者に対して、研究倫理教育の徹底を掲げています。様々な教材を提供していますので、定期的に受講してください。

研究倫理ウィークの開催：

本学では、毎年、研究倫理ウィークを定めています。基調講演・パネルディスカッションを行う研究倫理セミナーや、研究倫理教材コンテストを開催してまいりました。

東京大学の研究者として責任ある研究活動を！

科学研究行動規範リーフレット

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400030733.pdf>

